

議会だより



新年度予算ピックアップ	ページ
一般質問(集落・農業・福祉の向上を質す)	4・5
モニターアンケートにお答えします	12~19
新しい町づくりへ 私の提案	21
	23

春爛漫 新学期開始!
関連記事24p

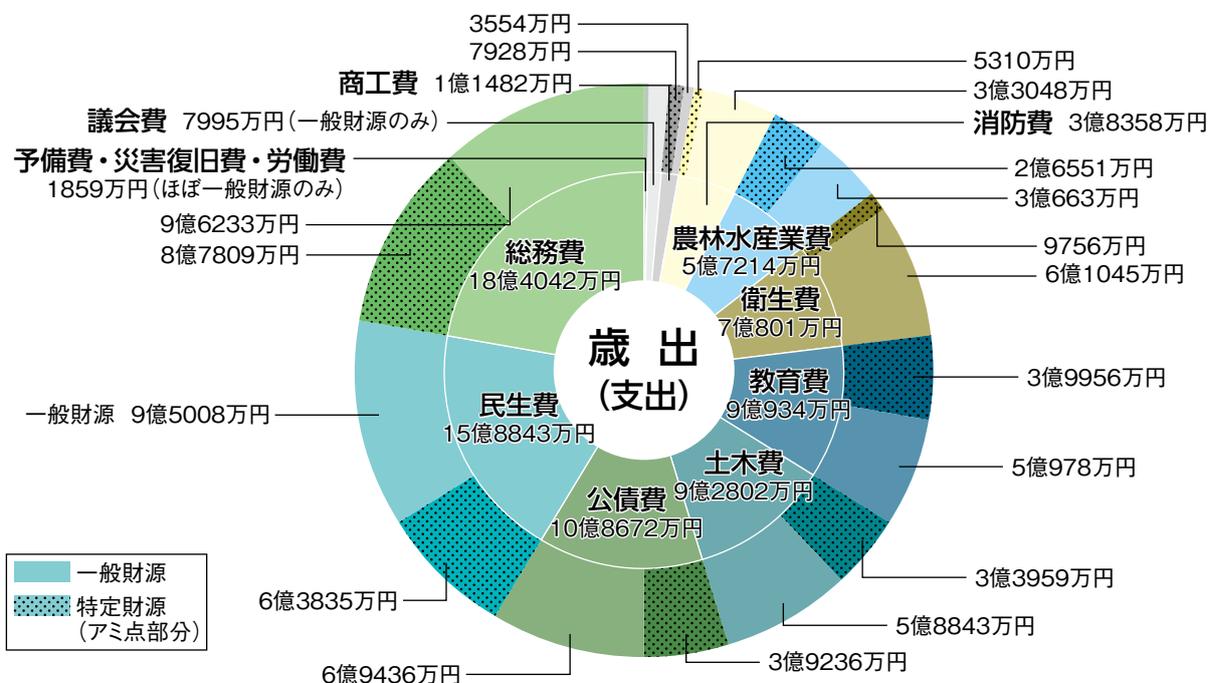


斬る! Part1

一般財源／特定財源という分け方があります。一般財源とは町が自由に使えるお金と取らずに「国に認可されれば、何割かの補助金が出る」と解釈します。特定財源(特

歳出 82億3000万円

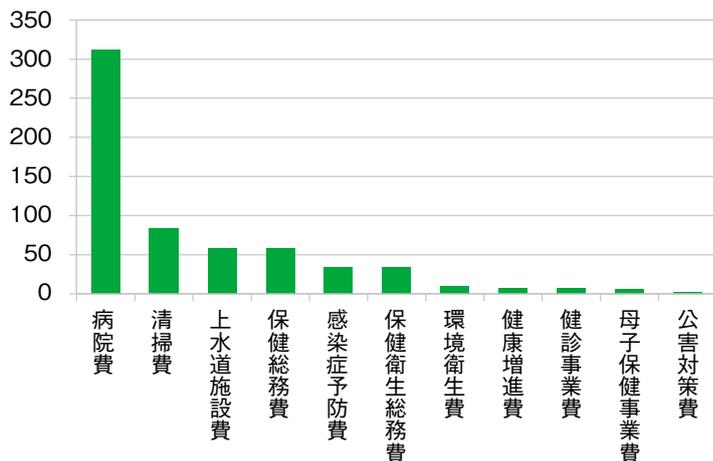
特定財源をうまく使っているように見えますが、衛生費の一般財源の率が目立ちます。



※四捨五入調整のため、合計が一致しない箇所があります。

衛生費の一般財源の内訳

単位:百万円



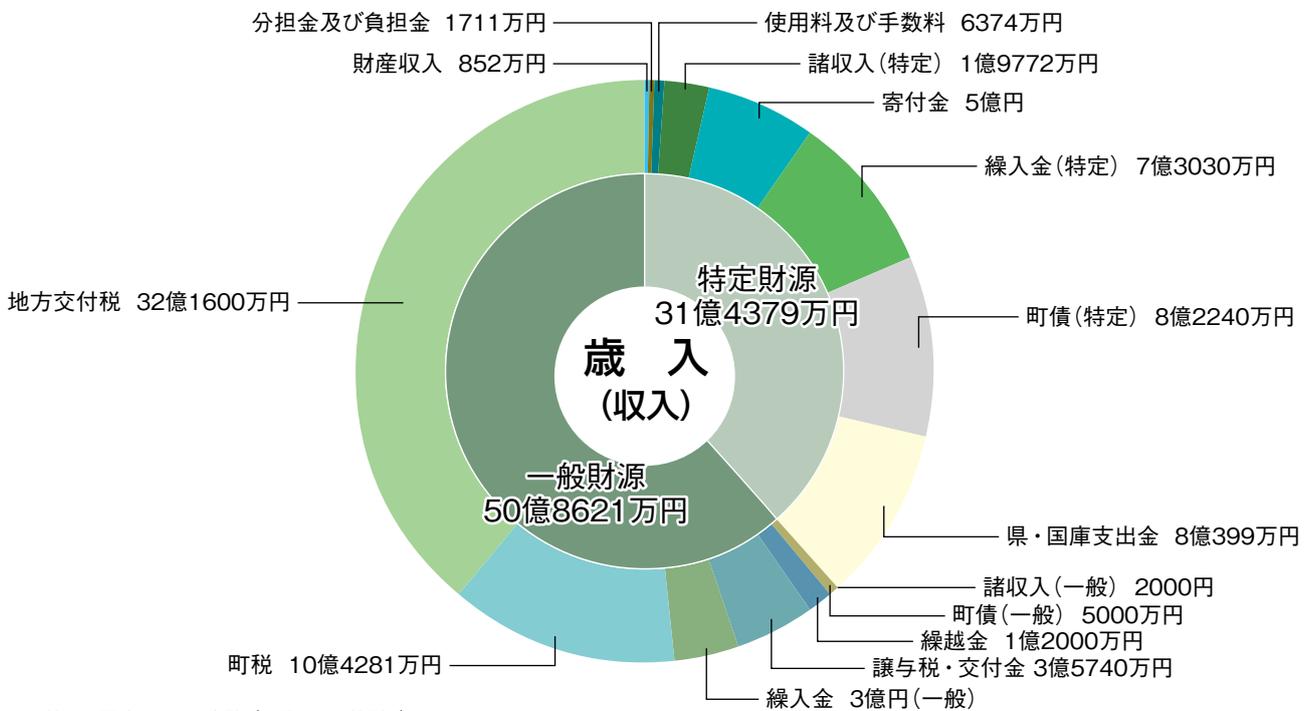
病院費が突出しており、一見すると非常に多いように見えますが、2/3程度が国から財政措置されています。予算書では判りませんが、地方交付税(一般財源)の算定の際に病院負担分の一部が入っています。その為、実質の町民一人当たりの負担額は、年1万円未満となっています。一般的に、地方の公立病院は、民間の病院と違い、採算の合わない診療を行ったり、病床の確保の費用が掛かる(常時満床にできない)為、一般会計からの繰入れ無しには成り立ちません。

町の予算を

予算の分析には、町の広報に載っている歳入の自主財源／依存財源という分け方で、特定財源とは特定目的にしか使えないお金です。「特定だから、自由に使えない」に県・国庫支出金)を有効に活用すると町の負担が減ります。(10ページのPart2に続く。)

歳入 82億3000万円

一般財源は、全収入の6割です。一般財源の約6割が、地方交付税です。残りが、町税、繰入金と続きます。

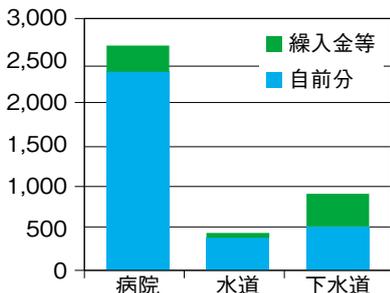


※四捨五入調整のため、合計が一致しない箇所があります。

公営企業会計

各公営企業会計の収入の内訳

単位:百万円



各公営企業会計の収入に占める一般会計からの繰入金が分かるように内訳をグラフで表しました。右ページの病院費が突出していますが、それよりも下水道事業への補填の方が高いと言えます。下水道についても一部は、地方交付税の措置があります。

水道は良好に見えますが、現在の繰入金額、使用料金では数年後には深刻な問題を抱えます。

水道、下水道の詳しい解説は、10 ページで。

ピックアップ!!

CHECK

重層型支援体制整備事業 1億3323万円

…複雑化・複合化した住民ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するもの。



質疑：重層的支援体制整備事業について、福祉担当と子育て担当との横断的な体制のあり方への考えは。

回答：今までも課を越えた横の繋がりをもっているが、問題の解決には子ども本人の問題と同時に、周りの家族等の問題解決が必要となるケースが多く、他課との連携を一層密にする必要がある。子育て支援係は、支援センター職員を中心に、学校への連絡、福祉系のケース会議への参加を行っている。

◆令和5年度に新規採用予定

- 企画課 2名
- ・担当：いいづなコネクトEAST活性化業務（しごとの創出・企業誘致）
 - ・担当：いいづなコネクトEAST活性化業務（テレワーク支援・企業誘致）
- 産業観光課 2名
- ・担当：給食用食材の供給体制構築、有機的農産物の栽培支援から消費までの総合コーディネート
 - ・担当：りんごを核とした町の魅力を積極的に発信する事業

質疑：産業観光課の観光担当の協力隊の具体的な活動内容は。

回答：観光振興である。長野市と観光連携協定を結んでおり、Eバイクを使ったコース作りなど体験型観光メニュー等の企画立案や、インバウンドで海外からの誘客に繋がるような観光の魅力発掘と発信に取り組んでいる。

質疑：集落創生担当は、牟礼地区・三水地区で各1名の予定だったが。

回答：当面は1人で担当してもらおうが、将来的には牟礼地区・三水地区で各1名体制で進めたい。

質疑：協力隊に町が求めるものは、任期満了後の移住定住ではないか。

回答：結果的にそうなれば良いという思いはあるが、それを条件にはしていない。地域活性化のために仕事をしてもらい、その後、起業などにより町に残って欲しい。

新年度予算

定例会

CHECK

ふるさと納税事業費 3億5100万円

…ふるさと納税協力者に対し、お礼の品を贈呈することにより、町の特産品や観光をPRする。品質管理の徹底、寄付者の満足度を高め、リピーター獲得を図る。



質疑：支援業務委託費の見込みは。

回答：これまではカンマッセに委託していたが、JAのマルチ ▲JAの光センサー選果の様子の取扱件数が多く、次年度は更に件数も増加することが予想され、対応が困難になるためJA分を町直営に変更する。カンマッセへの委託料は5100万円程度。

質疑：納税額の増加に伴い、ブランド力の維持も重要。4年度のクレーム状況は。

回答：現在までで、返礼品の不具合が66件、輸送中の事故が33件。

質疑：光センサー糖度保証の商品のレビューで、味への低評価のものがある。品質保持についての方針は。

回答：次年度以降も、糖度の基準について、打合せをしていく予定。
(後日回答で、令和4年度は糖度12度を基準としていたとのこと。)

CHECK

地域おこし協力隊関係費 6040万円

◆令和4年度から継続

企画課
5名



植田 麻緒隊員
(いいづなコネクト EAST
のカフェレストラン運営)



中嶋 真也隊員
(ふるさと納税支援)



谷村 綾美隊員
(いいづなコネクト EAST
のフード店運営)



岩井 敦史隊員
(空き家活用推進)



三原 彩音隊員
(集落創生事業サポート・集落活性化)

産業観光課
5名



飯森 則裕隊員
(飯綱りんご学校運営、都市交流)



山城 竜星隊員
(いちごを主とした農産物栽培支援)



佐藤 宏一隊員
(飯綱りんご学校、都市交流)



石川 真結隊員
(いちごを主とした農産物栽培支援)



木内 礼次郎隊員
(農産物栽培支援、遊休荒廃地対策)

有機栽培、学校教育等 住民要望実現へ 令和5年度予算審査

予算審査

総務費

アイバス運行倍額！

質問 公共交通は大切だが、当初約4000万円が倍額になっている。検討が必要では。

回答 約3000万円のバス車両更新費補助が含まれる。8割の特別交付税措置はあるが、費用対効果の高い公共交通を検討していく。

補助要綱改正！

質問 運転免許証の自主返納支援期間は。

回答 昨年度までは返納後5年間と期限を設けていたが、今年度より期間を設けず支援が受けられる。

スマートタウン

運用状況は

質問 農業用のセンサー等の研究を進めているが、運用はいつから。

回答 稲の育苗ハウスの気温・水温を自宅確認がで

きる実証実験を今年春から実施し、効果を検証して町内に広げたい。*LPWAを全町に導入したため、遠隔地で栽培環境の情報を得る際に通信費が掛からない利点がある。
(※省電力かつ長距離での無線通信)



▲積雪センサー

▲雨量センサー

弊害はなかったか

質問 DX推進交付金はマイナンバーカードの申請率が影響か。

回答 採択時に国の平均申請率を上回っているののでポイント加算される状況。

民生費

事業費

1310万8千円

質問 介護予防支援・生活支援体制整備事業の委託先は。

回答 介護予防支援事業、お元気クラブ211万6千円、すてきなおやじさんクラブ50万円、地域住民グループ(いきいきサロン)170万円は飯綱町社会福祉協議会。サロン講師派遣は健康運動指導士66万円。生活支援体制整備事業は、地域づくりの観点から、生活コーディネーター2名配置予定。委託先は飯綱町社会福祉協議会で人件費を含む。

介護職員定着促進事業、雇用要件とは

質問 3年間雇用継続されなかった場合は補助金返還か。

回答 返還とする内容で要綱を作成予定。

衛生費

負担金減額！

質問 北部衛生施設組合負担金減額の内容は。

回答 職員数が1名減となり、組合解散時の職員退職手当の積算が無くなる。原材料費の減額。ただし、電気料金、施設設備修繕費、薬品類代、会計年度任用職員人件費は増額。

農林水産業費

町の有機栽培は

質問 荒廃農地で学校給食用オーガニック食材を試験栽培することに事業者の募集期間や応募条件はあるか。

回答 試験栽培を通して、通年農地を管理し、試験的に学校給食用食材を提供してもらおう予定。毎日取り取りできる町内事業者が好ましく、公募でなく町内の農業法人等の事業者から業務受託者を選定し、継続して

オーガニック給食食材の生産・供給を積極的に推進していく意欲のある事業者・農業者に試験栽培業務を委託したいと考える。

質問 慣行栽培してきた農地で急に有機栽培はできないか。

回答 有機栽培の定義や考え方が生産者毎に異なる。減農薬・減化学肥料による低コスト化や環境低負荷・循環型の栽培を推進していくのが事業の狙い。町としてのオーガニック栽培の基準及びルールを作る予定。慣行栽培を理由に有機栽培はできないとする厳密な線引きはしていない。

意見 「価格の安さ」「有機という安全性」の二極化が起きつつある中、町として有機に重きを置くのなら、学校給食での提供は町の良いPRになる。

センサーカメラ設置

質問 何台購入して、どこに貸し出すのか。

回答 15台予定だが県の採択状況で減ることも想定。貸出しは猟友会やニホンジカ等の被害を受けた農地へ設置予定。

農業支援を！

質問 好評だった町独自の農業支援金。生活基盤を整えるために、もう少し継続的にやることは。

回答 第1次産業としての農業の堅持を図るためにも、支援をしていく。国や県と一緒に考え取り組んでいる。

商工費

あじさい植栽は

質問 2万本を目指していた。枯れたものもあるが、現在の本数は。また目標はいつ達成予定か。

回答 「あじさいプロジェクト」を始め、平成24年度から10年計画で2万本を目指してきた。令和元年までに、9900本植栽。コロナ禍でイベントがで

きず、毎年枯れたところに、100本程度補植している。雪解けを待ち確認する。

土木費

除雪路線状況把握は

質問 除雪路線図数値化とは。

回答 紙ベース管理をデータ化する。パソコン画面等で路線の確認や車両の状況把握が容易になる。担当者以外も情報の閲覧がしやすくなる。

教育費

中学校図書館 利用促進を

質問 住民から「使いにくい」の声を聴く。学校側は外部者が施設に入ることに抵抗があるようだが、利用促進に向けた指導は。

回答 社会開放施設の使用時間に、校舎棟と間のシャッターを降ろして、関

係者以外の侵入を防いでいる。
開かれた学校づくりを目指し、地域住民に学校教育への参画を促すため、昼間の施設開放ができないか検討し、住民が施設を使いやすくなるよう方策を模索する。



▶地域住民へ学校教育参画を！
(飯綱中学校図書館)

中学校部活 地域移行の行方は

質問 今後どのように進めていくのか。AC長野パルセイロ等、地域にゆ

かりのあるプロスポーツ選手に指導依頼をしてはどうか。

回答 学校関係者、PTA、町内スポーツ団体指導者対象に勉強会を開催し検討。

令和5年度から長野地域連携中枢都市圏における連携事業で検討。今すぐビジョンを示せないが、制度変更によって子供の活動の場が奪われることのないように段階的に進める。

公債費

質問 借換え債の仕組みは。

回答 町債の償還額の一部を借り換えるために新規に発行。金融機関からの借入れは20年の長期対応していない場合や、返済期間を10年程度として金利を低く抑えるメリットなどから、借換え手法を取っている。再度、複数金融機関に金利照会のため、有利な金融機関へ借り換え、10年間で平準化させ返済していく計画。

条例改正

主なもの

消防団員の報酬額を大幅に引上げ

飯綱町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 — 可決

団員の年報酬額、現状2万8500円を3万6500円に増額。1日の出勤報酬、現状7200円を8000円に増額。



▲2022年ポンプ操法大会

飯綱町給水条例の一部を改正する条例 — 可決

条例改正

料金等の督促等及び債権に関する適正管理について規定の整備を行うもの。

反対討論

小林文廣

加入負担金、私債権、寄付行為、過料に処することはできない。一般用途6万2700円、用途区分、飯綱山麓保健休養地から別荘地用に名改正7万7千円、料金較差不公平、説明を拒んだ。説明責任果たしていない。

補正予算

ふるさと応援寄付金 7000万円の増額 見込む

令和4年度飯綱町一般会計補正予算(第11号) — 可決

既定予算に5746万円を追加して、総額88億9645万円とするもの。

主な歳入

法人事業税交付金、地方消費税交付金、地方特例交

補正予算

付金が増額

4417万円

寄付金増額

7000万円

国庫・県支出金の実績による減額

△3293万円

町債減額

△2200万円

主な歳出

総務費

7000万円

民生費

△3116万円

衛生費

8226万円

土木費

△3158万円

請願・陳情

令和4年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) — 可決

既定予算から4000万円減額して、総額を14億140万円とするもの。

令和4年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第3号) — 可決

既定予算から1000万円減額して、総額を1億6900万円とするもの。

補正理由

若者住宅造成下水道管敷設工事の敷設ルート変更による工事費の減額。

請願・陳情

日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情 — 不採択

①学校上空の飛行禁止。

②日本政府、沖縄県、宜野湾市の責任において、普天間第二小学校内の土壌調査の実施及びPFAS汚染特定箇所の土壌の入れ替えを行うこと。

③普天間の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全を保障すること。

を求めている。

反対討論

青山弘

内容には、安全保障条約や地位協定に関することが含まれている。これは町村議会で判断する範囲を超えている。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情 — 不採択

最低賃金を全国一律に改正し、労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円以上をめざすこと。最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業、農林水産業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ることを求めている。

反対討論

中島和子

毎年3%程の引き上げ

利用者減による交付金の減額



▲ふるさと応援寄付金

で、中小企業の経営は追い込まれ、景気は後退傾向。感染症も重なり経済の悪化を招いている。今後、企業や事業所へ施設投資支援をして地域経済が安定してきたところで賃金の改善をすべき。

石川 信雄

最低賃金の引き上げには賛成だが、時給1500円に耐えられる事業者がどれ程いるのか考えると甚だ疑問であり、現実的でないことから反対。

原田 幸長

最低賃金法では、各地域における労働者の生計費、賃金、企業の賃金支払い能力を考慮し、地域別最低賃金を決定するとされている。全国一律の最低賃金は、容認できない。

賛成討論

伊藤 まゆみ

コロナの流行とこれまでにないほどの物価高は、

非正規など弱い立場の方々に大きな影響を与えている。中小企業などには、国のさらなる支援を求めている。
昨年採択し、意見書を提出している。

農産物に関する意見書

可決

国による農産物の最低価格保証で、安定経営の実現を拡大することと日本の食料自給率をカロリーベースで75%まで拡充することを求める。

反対討論

中井 寿一

自給率75%には大賛成だが、最低価格保証で解決できると思えない。また、農業を取り巻く問題が最低価格保証で解決できるとも思えないので反対。

石川 信雄

自給率向上は食料の安全保障からも賛成だが、価格保証制度は市場原理

に反することでもあり、産地のブランド化を阻害することにも成り得るので反対。

人事案件

同意

教育長

馬島 敦子氏

反対討論

中井 寿一

「給食は義務教育の範疇ではない」「域外の中学校に通わせるのは親の都合だ」「高校生への通学補助は、教育委員会の管轄ではない」等の発言は、国の通達や教育の自由化・多様化に反しており、無責任である。



令和5年度 3月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

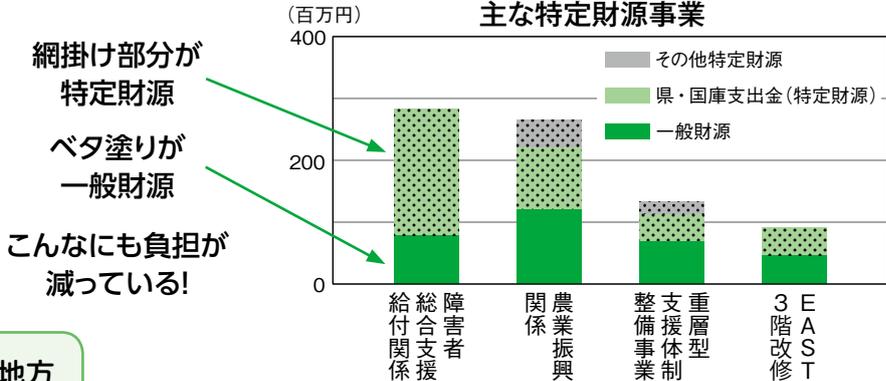
議案名	表決結果	議員														
		三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	青山弘	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	渡邊千賀雄(議長)
飯綱町情報公開・個人情報保護審査会条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町水道事業運営審議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
令和4年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯綱町一般会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯綱町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
教育委員会教育長の任命について	同意	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○
「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	○	○	●	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○
発議 農産物に関する意見書案	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※今回は全議員賛成の議案名は載せておりません。

町の子算を斬る! Part2

こんなに出ている特定財源と特別交付税!

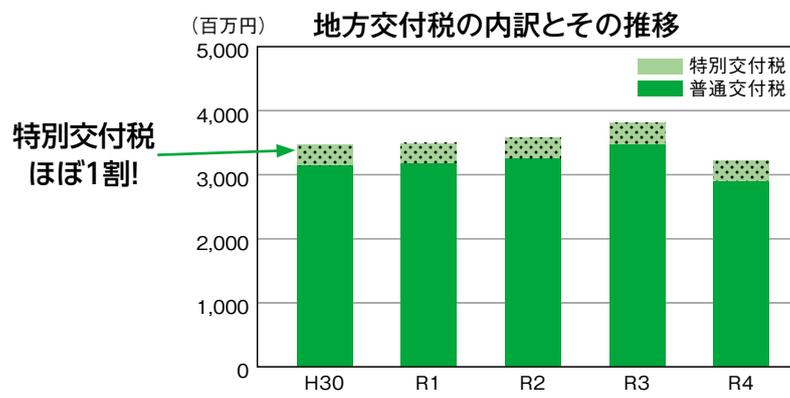
県・国庫支出金は、特定財源の一つです。実際にどういった事例があるか主なものを示します。この様に支出金等を有効に活用すると町の負担を軽減することができます。



お得なものは、他にもあります。地方交付税は一般財源ですが、その中に普通交付税と特別交付税があり、特別交付税は、国の指定する分類の事業であれば、普通交付税の他に上乗せされる交付税です。

例

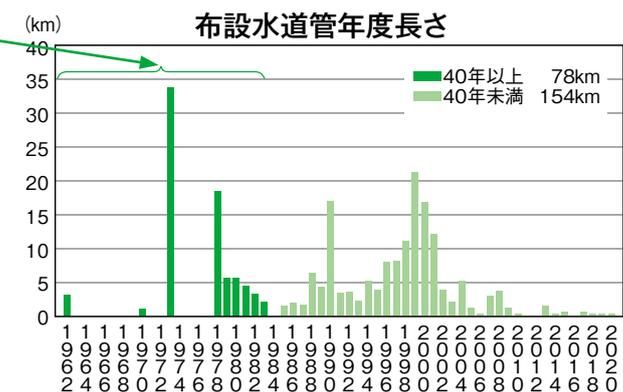
- ・地域おこし協力隊 (R5 約6千万円)
- ・地方バス (R3 約5千万円)
- ・過疎等地域振興 (R3 約1億円) 等



水道と下水道会計の詳細

水道管及び施設の改修には、今後約20年間で40億円必要。

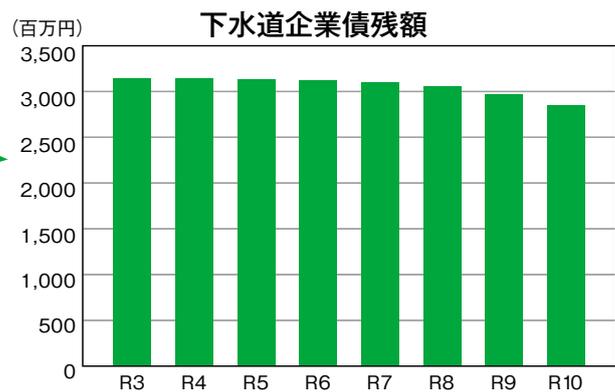
水道管の寿命は40年。寿命が過ぎた水道管が1/3ある!



下水道は、過去の設備投資の借金を返済中! 一般会計からの繰出金にほぼ相当する額。

約30年間、支払いを続けなければならないが、設備投資は、今後も必要。

人口密度の低い地域では、上下水道の管路が長くなるため、営業収入だけでは採算が合わないのが実状。



定例会

議会要望への回答

令和5年度予算に反映

飯綱町議会では、「チーム議会」として町長に対し、毎年、「予算・政策要望書」を提出し、その回答を公表しております。以下、令和5年度予算に関連するものを抜粋しました。

《住民との『共働』》

【要望】

- ・住民が地域を知り、課題を見出し、話し合いの上で、住民と町が『共働』で課題を解決し、集落の活性化を図ること。

【回答】（企画課）

- ・住民がまちづくりの主役になるような事業を推進。
 - 「若者会議運営事業」を継続実施。200万円計上。
 - まちづくりの助言を受ける「地域力創造アドバイザー事業」560万円計上。
 - 住民のまちづくり活動を応援する「まちづくり活動支援事業」200万円に大幅増額。



▲若者会議の様子

《集落機能の強化》

【要望】

- ・集落機能、地域活力の低下が進む中で、集落創生を着実に進めるとともに町として、課題別、地域別に集落連携を進め、持続可能なコミュニティの仕組みづくりを推進すること。

【回答】（企画課）

- ・集落創生関連の地域おこし協力隊費用480万円、集落創生事業695万円計上。
協力隊が未実施地区へ出向き、先行事例を紹介しながら、集落創生事業を全町へ広げたい。
(関連記事4・5ページ)

《農業の振興》

- 【要望】 農業の担い手確保のため、新規就農者向けの家賃補助、農業機械購入補助事業等の拡大と充実及び倉庫等建築補助事業を創設すること。

【回答】（産業観光課）

- ・新規就農者向けの支援は、国の補助事業も拡充されており、家賃補助の予定はないが、町での就農の動機付けとして、町独自の支援策を検討していく。新たな補助事業として、アシストスーツの購入費補助を新設予定。



▲アシストスーツ

一般質問 集落・農業・福祉の向上を質す

ひぐち いさお
樋口 功 13 ページ

町の人口動向と今後の人口増対策は

しみず みつる
清水 満 17 ページ

農業振興を

はらだ ゆきなご
原田 幸長 14 ページ

- 1 少子化対策・子育て支援策は
- 2 不登校は

たきの よしえ
瀧野 良枝 18 ページ

公共交通施策の方向性は

かざま ゆきお
風間 行男 15 ページ

- 1 飯綱町農業の未来は
- 2 水道管の漏水箇所の特特定を

いとう
伊藤 まゆみ 19 ページ

- 1 介護予防・日常生活支援事業の充実を
- 2 補聴器購入助成の拡大を

なかい ひさかず
中井 寿一 16 ページ

教師の働き方改革は



- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



傍聴席



本郷 華子さん
(古町)

一般質問

3月8日に傍聴しました。委員会を傍聴するのは初めてで、傍聴も久しぶりでした。私はここ数年間の社会情勢により知る必要が生じたため、政治や法律、医学的な物事などを調べるようになりました。私にとっての「豊かな人生」を送るために始めたことですが、新しく多くのことを知る機会となりました。

住民の真の豊かさを求めて

その中で、地方自治制度について学ぶことがありました。地方自治法では住民の福祉の増進を図るため自治権が保障されていて、その自治には住民の意思が反映されている必要がある、とあります。この町の住民としてその意思が町政に反映されていると感じられるかどうか。また、議会がどのように住民の意思を反映させようとしているのか。また、数の多い民意を反映させれば良いというのではなく、それが住民を真に豊かにすることになるのかを調べ明らかにし、住民に伝わるように発信することを町政に、議会に求めたいです。そしてそれを求めるのであれば、回数や人数、報酬など今の議会のあり方を見直すことも必要かもしれないと考えます。

住民の福祉の増進を図るために動く姿は、いろいろな好循環を生むのではないでしょう

今後の人口増対策は

子育て支援策、住宅整備を一層進める



樋口 功議員

22年の町の人口増減の状況は

樋口 総務省が公表した2022年の人口動態では、長野県の人口は201万6000人で、前年より1万3000人減少したが、595人の転入超過（外国人労働者も含む）。首都圏とのアクセスや子育て環境の良さなどが評価された形

全国の出生数は80万人割れで統計推計を10年超の早いペースで少子化が進んだ。県内では出生数が1万2千人と過去統計で最少の状況。町の人口増減の状況は。企画課長 出生数が47人、死亡数が190人で143人の自然減。転入が238人で転出が277人、その他増3人で36人の社会減。合計179人減で本年1月1日現在の町総人口は9952人となった。少子高齢化により自然減が拡大し、町の人口減少に拍車がかかった。

樋口 第2次町総合計画で人口増減をどのように分析しているか

の将来推測人口を3年も早く1万人を割った。この状況を直視し、対処する必要があるが、現状をどう分析しているか。

企画課長 22年の社会増減は転入が転入を39人上回った。地方回帰や移住政策の向上により、首都圏からの移住が増加し、県を越えた転出入はほぼ同数まで改善したが、特に長野市等の近隣都市的領域への転出超過が社会減の要因になった。転出は比較的落ち着いているが、転入がまだ少ない状況にある。年齢別では、18歳から27歳の世代が59人の転出超過で、大学等への進学、就職、結婚などが要因。就学前の0歳から5歳までは18人の転入超過で、その親世代の35歳から44歳の世代が13人の転入超過。町の人口は減少したが、過去10年間の出生数はほぼ横ばいで、ファミリー層の転入が多いことが要因。

飯綱町令和4年世帯数及び人口増減

	世帯数	総数	男	女
令和3年末	3,767	10,131	4,956	5,175
増減	10	-179	-102	-77
令和4年末	3,777	9,952	4,854	5,098
内令和4年自然増減		総数	男	女
	出生	47	23	24
	死亡	190	92	98
内令和4年社会増減		総数	男	女
	転入	238	105	133
	転出	277	138	139
増減	-39	-33	-6	
内令和4年その他増減		総数	男	女
		3	0	3

(注) 自然増減・社会増減とは
出生・死亡による人口の増減→自然増減
転入・転出による人口の増減→社会増減

人口減少が地方のまち・生活に与える影響

- (1) 生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)の縮小
- (2) 税収減による行政サービス水準の低下
- (3) 地域公共交通の撤退・縮小
- (4) 空き家、空き店舗、耕作放棄地等の増加
- (5) 地域コミュニティの機能低下

これまでの人口増対策の評価は

樋口 町は令和2年4月に

今後の人口増対策は

樋口 今後どのように人口増対策を進めるか。

町長 小学校に入学した子供の数が町で生まれた子供の数よりも毎年10数人多く、60人台を確保している。町の子育て支援策が充実している結果とっており、一層進めたい。また、東黒川地区原田に住宅建設した賃貸10戸、分譲5戸で計40人近い若い人が増えた。福井団地内の未活用宅地や町内の空き家などについて過疎債を利用するなどの施策を検討する。ここ3年、4年は住宅の整備を進めたい。



原田 幸長議員

少子化対策は今後10年が正念場

町長 全国的にも進んでいる対策と評価

少子化対策について の見解は

原田 国の人口動態統計では、推計よりも10年超速いペースで少子化が進んでおり、少子化対策は今後10年が正念場になる。町長の少子化対策についての見解は、**町長** 全国的にもかなり進んでいる少子化対策をやってきたつもりだ。残念ながら、全体の人口増にはつなげていないが、小学校に上がる子ども達の中に毎年転入してくる子どもが20〜30%、1年生の中にあることは、少子化対策の大きな評価と思う。

出産・子育て応援 交付金活用は

原田 識者は、今の生み方が続くと半世紀ほどの間に現在ある家系の4割程度が消えてしまう。子や孫もいない人は、将来社会への投資に税金を払うことに矛盾を感じるだろうし、一方で子育てを経験した人は、その負担を免れた人たちが、自分の子世代が支える社会

飯綱町の出生数推移

住民環境課「令和3年度行政報告書」

年度	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
出生数	53	68	41	49	56
年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
出生数	39	50	25	47	48

保障サービスと同等に受けることに不満を持つかもしれないと警鐘を鳴らしている。

国は「従来とは次元の異なる少子化対策」を打ち出し、伴走型の相談支援と計10万円相当の経済的な支援を一体とする制度を全国で実現している。この制度で妊娠時5万円相当、出産時5万円相当の支給を受けることができるが、交付金の

一般質問

対象人数と予算額は。**教育次長** 令和4年4月1日以降に出生された方も対象。人数的には1000人を想定。10万円の1000人分で1千万円の予算を計上している。

原田 給付の仕方は、現金給付になると思うが出産時に町単独事業と合わせて支給されるのか。

教育次長 出生時は、町単独事業の20万円と出生時の5万円、妊娠届時にも5万円それぞれのタイミングで支給される。

不登校特例校設置 要望を長野市に

原田 県教育委員会は、不



▲こんにちは赤ちゃん!飯綱町に生まれてくれてありがとう

登校の児童生徒数が過去最多を更新したと発表。新型コロナウイルス感染症拡大に伴うもので、生活リズムが乱れたことが影響したとみている。支援として専門家から対策の鍵になるのは、不登校児童生徒に合わせたカリキュラムを柔軟に組み合わせることができる不登校特例校の設置促進を挙げている。県都長野市に特例校設置要望を考えるが。**教育長** 特例校設置については、これからやっていくという事務連絡が来た段階であり、今後国や県の動きも注視しながら仮に長野市になれば、近隣の飯綱町にも関わることであるので要望を出していく。

農産物の価格保証制度の見解は

町長 農産物の価格保証は大事



風間 行男議員

農業の振興を

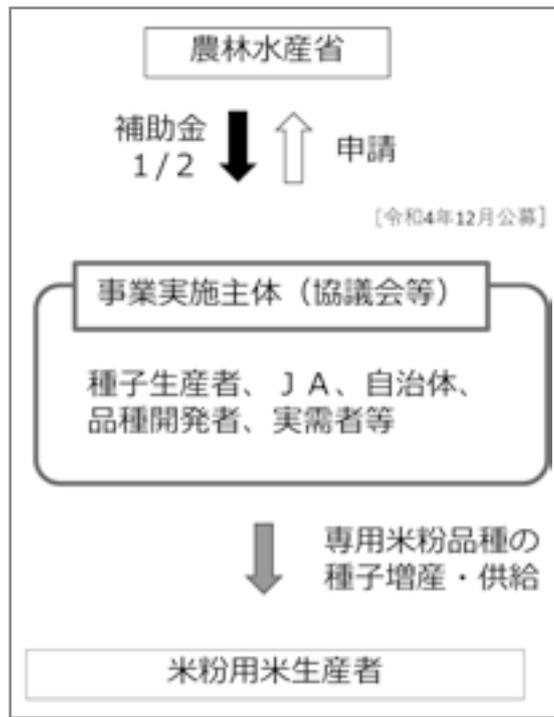
風間 農業の生産性向上について、日本の食料自給率向上と農産物の価格保証制度の見解は。

町長 町の状況は日本の縮図。食料自給率向上は国民の食料安定供給は基本。町として模索していきたい。農産物の価格保証は大事、国が生きていくために何らかの農家支援は必要。耕作意欲や購入意欲は国がきちんとやってほしい。



▲作付面積の拡大を

風間 町の基幹産業は農業。農産物の販売促進には行政、農協、生産者等で農政対策委員会等設置しては。
町長 米については農政協議会がある。今後総合的に協議する委員会は賛成だ。
風間 離農問題の解決策、新規就農者確保の対策は。
町長 担い手確保は大切、



出典 農林水産省ホームページより

確立したい。町として大きな課題。第一次産業として農業の基盤を模索している。圃場整備、大規模化、外部からの資金、総合的に検討したい。ふるさと納税資金で自由に使えるお金を町の施策に向けていきたい。
風間 減反政策の見直しについて、農林水産省では米新市場開拓等促進事業が新設され、新たに米粉に適した米の生産に収量にかかわらず10アールあたり9万円を助成する。町として、米粉生産拡大に

向けた施策を推進する考えは。
町長 米粉を使った独自の商品開発をし、販売先を考えた施設整備を研究していきたい。

水道管漏水箇所の特定について

風間 人工衛星のデータを活用し水道管の漏水箇所を特定し、水道吸収率向上となるが。

副町長 平地では的中率が良いが、山間地では樹木などの障害物などでの中率が下がる。使用している市町村の動向をみながら検討する。



▲有収率の改善を

教師の働き方改革 (部活) は

これから検討する



中井 寿一議員

昼食時の教師負担軽減

中井 教師の過重労働に対し、平成31年1月に中央教育審議会は教師の働き方改革の答申の中で、教師の業務を次の3つに分けた。
ア 学校の業務ではないもの
イ 学校の業務だが、必ずしも教師の仕事ではない

もの ウ 教師の業務

要するに、**ア・イ**の業務は、ボランティアを見つかるか、雇いなさいということである。
給食は、**イ**であり、安全面以外は教師の負担を軽減するべきとされている。飯網町における給食時の教師の負担軽減は。



▲小学校の低学年の給食時の様子(教師2人体制)

部活の 教師負担軽減
中井 部活は、中央教育審議会の答

教育長 食育は重要と考えており、特に低学年は2人の教師を配置している。
中井 先の答申では、登下校は学校の範疇ではないとされたが、飯網町における登下校に関する教師の負担軽減は。
教育長 登校時は、既に、地域ボランティアの手による見守りを実施している。

申では**イ**の扱いであった。しかし文科省は、これを無視して、**ア**の扱いと同様の地域移行を平成31年3月の通知「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」で部活は地域移行すべきと断じた。文科省の言う地域移行は、学校と切り離すという意味である。しかし、令和4年12月のスポーツ庁・文化庁連名のガイドライン「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、中央教育審議会の答申に従い「校長は、教師だけでなく、部活動指導員や外部指導者など適切な指導者を確保していくことを基本」とし、学校があくまでも部活に関わると謳った。どちらにしても、新たな経費が掛かる。飯網町は、中学校の部活について、保護者への負担をどう



▲見守り隊による登校の様子

考えているか。
教育長 これから県の担当者を招いて検討するところである。保護者への負担はできるだけ避けたい。

一般質問



中央教育審議会の答申



文科省の通知



スポーツ庁・文化庁のガイドライン

魅力ある農村集落の活性化は

町長 農業振興なくして町の活性化はない



清水 満議員

魅力ある地域づくりは

清水 農業集落が維持され、活気や魅力がないと就農者は減り続け、農業生産自体も維持できない。

農業の活性化は、そこに住む住民が快適で、魅力ある地域づくりが重要。

農業の大規模化といった政策のみならず、集落機能の維持や活性化に関する多様な政策が必要。

町長 町の実態を言えば、福井団地とか栄町等では少し趣が異なるが、農業振興なくして町の振興は考えられない。

従って、日本一のりんごの産地という意味は、そこに携わる農家は農業を通じて、今の幸せを味わってもらい、生活の安定を得たり、子育てや福祉等充実した生活を送れることが根本的なこと、農業振興は深くリンクしている、と位置付けている。

高齢化・後継者不足 対策は

清水 町の総合計画では農

業経営基盤の強化と多様な担い手の確保と共に農業の価値と魅力を高め維持可能で競争力ある農業を推移するとやっているが、農業従事者人口・経営規模面積・農業所得等大幅に減少している。

町が掲げる日本一のりんごの町づくり政策に問題はないか。

町長 飯綱町のお米もりんごも美味しいとの評価が高い。それらの利点を踏まえ担い手を確保していきたい。

それは、法人化という手もあるし共同体的な生産組織を更には広い分野での個人の担い手を確保していく努力も必要。

農業を選んで就農いただいたということ、農業に魅力があったと思う。農業で十分儲けて、暮らしているプランを示すことが極めて大事。今後練り上げ計画を立てていきたい。

耕作地放棄地対策は

清水 管理が行き届かない農地面積は140ヘクタール。農地面積の7・4%に



▲農業委員会の農地パトロール

及び、管理放棄による雑木繁茂・病害虫の発生源・鳥獣害動物の食害場となっている。その対策は。

町長 過疎地域の農業振興

策なので、過疎法に基づく事業を取り入れ用水路、農道を整備、農地の復活に心がけて事業に着手する。

公共交通

他分野との連携強化を

町長 運行事業者と方向性示し、協力体制へ



瀧野 良枝議員

町施策は利用促進に繋がっているか

瀧野 長電バス牟礼線の利用状況と、町施策の効果は。企画課長 70歳以上の「であるきバスカード」の登録実績は641人（2月22日現在）。感染症対策の影響で利用件数は減少したが、登録者数は令和元年対比40%増なので、利用増加の予測。長野市まで200円で可行的有利性を周知したい。**瀧野** 貨客混載により、1便が増便。運搬収入が増えると、町の赤字補填額減少も期待できるが事業評価は企画課長 令和2年が3994件、3年が862件で80%減。運送事業者の配送体制の変更で、積載できる荷物が減少。事業者の経営環境等を考慮し、協議する。



▲町施策への評価は

IIZUNA であるきバスカードの利用実績

→行政報告書を基に作成 (単位:円)

事業者	H30	R1	R2	R3
長電バス	584,070	1,296,062	1,043,736	972,126
アルピコ交通	10,970	41,050	24,850	47,270
合計金額	595,040	1,337,112	1,068,586	1,019,396
(件数計)	(2,444)	(5,582)	(3,912)	(4,147)

▲70歳以上の利用者は、最大200円で長野市まで(令和7年に見直し検討) 長野地域連携中枢都市圏ビジョンによる特別交付税の対象事業

アイバスコネクト 事業者間協議は

瀧野 4月から11月の土日・祝日で、令和3年の利用者は91名。うち牟礼駅とサンクゼール間が全体の42・8%（4年8月～11月利用者303名は65%）。令和3年の8月はサンクゼールでも土・日・祝日の9日間、無料送迎バスを運行。期間重複があるが、協

1乗車あたりの行政支出（町の一般財源負担分）

→飯綱町地域公共交通計画(第2期)を基に作成 (単位:円)

路線名	R1	R2	R3
地域間交通			
牟礼線	101	160	120
地域内交通			
芹沢線・国道線	1,778	2,227	2,459
飯綱温泉線	363	327	267
地蔵久保線	536	336	364
堀越線	844	730	792
奈良本線	2,164	2,612	2,200
東柏原線	265	169	95
日中デマンド	308	431	382
ナイトワゴン	1,481	1,470	1,384
観光二次交通			
アイバスコネクト	—	10,785	11,251

▲「乗って残す」地域の公共交通 8割が国から特別交付税措置され、残り2割が町の一般財源

企画課長 町内の観光事業者との調整は行っていないが、令和4年はサンクゼール、天狗の館等の観光事業者と相談し、運行ダイヤ変更、予約制廃止、車両の小型バス変更で、利用者は514名と、前年度比5.6倍に増大。地域経済への波及効果も考えられ、運行事業の費用対効果は高いと考える。

他分野との連携強化は

瀧野 輸送関係の事業者連携も大事だが、移動の目的地となるような商工業、農業、医療など他分野との連携強化は。

町長 行政と運行事業者が中心となつて、方向性を検討し、そこに農業、商業、観光の各部門の事業者が協力してもらえればベター。今後取り組まなければいけない具体的な提示と考え、真剣に取り組む。

瀧野 町内事業者によるお買い物送迎バスの利用実績の情報をご提供頂き分析したが、乗車場所やバス車内で仲間とお話したりと、単なる移動手段だけでなく利用されているように想定される。事業者の努力によって運行して頂いているが、町でも目的性をもたせた施策として参考になるのでは。**町長** 買い物弱者の足確保という点で非常に有難いと思っており、町でも移動販売車等へ支援している。公共交通の利用促進のためには、楽しく色々なメリットがあるものを目指したい。

介護予防

日常生活支援事業の充実を

町長 インストラクターの養成に力入れる



伊藤 まゆみ議員

伊藤 要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおり、成果を上げている。対象者は。

保健福祉課長 高齢者、障害者、難病などだが、現状はまず高齢者を対象として取り組んでいる。

伊藤 令和3年度決算で、高齢化率は39・3%、要介護・要支援の出現率は15・8%。健康寿命延伸のため団塊の世代への働きかけも大事だが、高齢でも元気でいたいと努力しているマスターズの皆さんも大事にすべきだ。

保健福祉課長 介護予防の検証のためデータの分析を業者に依頼している。

通いの場合が8か所、パワーリハビリが4か所、サロンを行っているところも増え、参加者も増加している。誘致に努めたい。

伊藤 地域住民の支えが必要不可欠な事業で、人材の育成が重要である。今後の展開は。

保健福祉課長 支える側の

減少が、地域の課題である。福井団地では、若い方の参加もある。

伊藤 インストラクターなどの研修の場の発信にアプリの利用は。

保健福祉課長 今後検討したい。



▲積極的に参加して健康寿命の延伸を

補聴器購入助成の拡大を

伊藤 対象者の拡大は評価できるが、聞こえの悪い中での生活は、危険なだけでなく認知症になりやすくなると指摘されている。支給額や対象者の拡充は。

町長 予算編成時に検討は

したが見送った。昨年度は6件支給した。

公共料金や物価に値上げが予想されるため、生活弱者への支援を念頭に予算を組んだ。

平和に関する予算は

伊藤 ロシアのウクライナ侵略から1年が過ぎ、平和への関心が高まっている。

国は、平和を守るための外交努力よりも防衛費の拡大に力を入れており、「新しい戦前が始まっている」との「徹子の部屋」でのタモリさんの発言がネット上で若者に大きな反響を呼んだ。

日本国憲法第9条は、世界でも大きな賛同があり、石碑が建てられている。

正しく学び行動することが求められており、地方自治を守るためにも、平和のための予算についてどのような検討がさ

れたのか。

町長 地方自治体では取り組みにくい。

町長として憲法第9条への賛同はあるが、図書の整備、平和大会への参加など積極的に進める予算要求はなかったし、町長としても求めなかった。



▲核兵器のない世界へ…平和行進出発式

一般質問

令和5年度 —飯綱町議会の重点的に取り組む事項—

(1) 重点的取り組み事項

- ① 議員定数、報酬等について
町民との意見交換会の開催
- ② 議会ICTの推進
- ③ 議員研修の充実



▲ICT化へ向けての研修

(2) 事業計画

- ① 町民、各種団体との意見交換会・懇談会を開催
 - ・テーマ(例)【議員定数、報酬、議会への要望等について】

② 主な行事日程

- ・ 町民講座(町と共催)
8月5日(土) 午後2時～
講師 青木理氏
- ・ 小・中・高校での
地方自治学習への協力
- ◎ 中学生議会への協力
(4月～10月)【私のふるさと飯綱町】15歳の
提言(案)
グループの話し合いに参加。議会傍聴。発表
会提言
- ③ 行政視察・研修会の実施
 - ・ 他町村等への視察研修と、委員会ごとにJIAAMや市町村アカデミーへの研修も検討、オンラインでの研修会の検討
- ④ 議会政策サポーター事業(新政策提言に向けた立ち上げ) 1月～
- ⑤ 政策提言等
 - ・ 飯綱町管内県事業要望(長野建設事務所による現地調査) 9月中
 - ・ 令和6年度予算・政策要望書の提出 9月末

⑥ 議会報編集調査特別委員会を 常任委員会(仮称「広報公聴 常任委員会」とする検討

- ⑦ 議会だより紙面の検討
- ⑧ 近隣町村議会との連携他
 - ・ 上水内町村議会正副議長連絡会(会長 飯綱町)
 - ・ 上水内北部議会協議会(会長 信濃町)
 - ・ 議会改革シンポジウム(県町村会主催)
- ⑨ 令和4年度飯綱町議会白書
 - ・ 議会基本条例の検証
 - ・ 議会基本条例自己評価、議員のページ



⑩ その他

- ・ 視察の受入
- ・ モニターアンケート結果(要望・意見等の共有)

モニターアンケートにお答えします

議会だより第69号(12月定例会)

モニターアンケート

Q

・自分の住んでいる町のこと、「誰かがやってくれる」「誰かがやればいいのだ」と無関心で、不平・不満ばかりを言いがちですが、町の運営にみんなが参加して、お互いの意見を聞き合えたらいいなと思います。やはり、議員の方々は町と町民ひとりひとりを繋ぐコーディネーターであってほしいです。

A

・令和5年度の飯綱町議会の事業計画として、町民、各種団体との意見交換会・懇談会を開催の予定です。日程が決まり次第、議会報等を通してご案内します。是非、参加をされて意見交換の場にしてください。

Q

・請願・陳情について
国等に求める内容のものは、採択された後、議会ではどのように対応されるのでしょうか？
今後の対応も記してほしい。

A

・受理し、付託された常任委員会で、審査し、採択された後、国務大臣など提出先を記した意見書を本会議に提案されます。
本会議で可決されると、町議会議長名で提出先に送付します。
こうした議会での結果報告を請願・陳情者に報告します。
今後も、飯綱町議会では、受理した請願・陳情は審査に付すこととしています。

Q

・一般質問について
質問に登壇する人の顔ぶれがあまり変わりませんが、登壇についてのルール等があるのでしょうか？
※議員の皆さんは登壇したいと思いますか、どうなんですか？

A

・登壇について人数の制限はありません。一般質問は、議員が町村の、行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものであり議員固有の権能として与えられているものです。ほかの発言と違って通告制が採用されており、議長の許可を得て行います。一般質問は大事な議員活動ですから、自分の考えを述べ、行政に反映させたいと思っています。質問する、しないは個人の判断です。町民の皆さんから意見を寄せてもらうことも、登壇することになるのではないかと思います。



「議会だより」クリニック 開催される



1月25日、議会報編集調査特別委員会はそれぞれの議会報の優れたところや改善課題を点検・確認、学びあいながら編集活動に活かすことが目的の研修会に参加。町村議会報研修会終了後、講師の芳野先生(広報コンサルタント)を飯綱町に招待し、飯綱町の議会だよりNo69号を評価していただいた。

以下、参加議員の感想です。



石川 信雄委員長

普段はスタッフによる内部での検証であるが、専門家の先生による問題箇所の指摘と範例には、なるほどと頷けるものがあった。今後の編集作業と紙面づくりに活かせるようにしていきたい。



中井 寿一副委員長

議会だよりを1年間作ってきたが、完全に型に嵌っていた。講習を受けてもっと自由に作っていいんだと気づいた。注目して欲しいことを全面に打ち出していこうと思った。



小林 文廣委員

町民参加の紙面づくり、読みやすい紙面づくり、見出しで分かる紙面づくり、12文字以内見出しにより読み、見たくなる、見出しの大切さを学んだ。



瀧野 良枝委員

住民の皆さんから「読みたい」と思っていただけの議会報を作るための、見出しの付け方、紙面の構成、また「伝わりやすい」記事づくり等、大変勉強になった。真の意味での双方向のツールになるよう、鋭意努力したい。



▲研修の様子



青山弘委員

議会だよりを読んでもらうには、表紙を見てページをめくりたくなるように作ることが重要。発行目的に沿った企画になっているか。読みやすさや分かりやすさへの編集技術について学んだ。



中島和子委員

「如何に住民に読まれ伝わるか、本文へ誘引する力が見出しにはある」「具体的で的確、訴求力があるか、記事内容にふさわしい書体も必要である」など、特に見出しが重要であることを学んだ。

新しい町づくりへ 私の提案

第30回

居心地の良さを強みに!



植田 健一郎さん
(東黒川)

2016年飯綱町地域おこし協力隊に着任した植田健一郎です。2019年任期終了後、黒川の古民家をお借りして今も活動しております。主な活動は、コーヒー豆の販売、映像編集です。

2020年のコロナ禍からスタートした映像事業、2021年からスタートしたコーヒー事業、住民の方々のみならず、県内各地、または地元香川県でもお仕事を頂けるようになりました。協力隊を卒業して3年、飯綱町に移住して6年、飯綱にこんなに長くいるとは最初は考えもしなかったです。地元にはない豊かな食材、大きな山々の景色、いまもここに居る理由は、きっとそこなんだと思います。これからも飯綱を中心に活動していきます。

2023年夏頃には、仲間と共にドッグラン付きのカフェを開業する予定です。飯綱の自然を活かした、居心地の良い場所を作って、さらに飯綱の良さを発信していくと思っています。またみなさんに会えるのを楽しみにしております。

議会を身近に感じる工夫を



小林 由起さん
(普光寺)

飯綱町議会の議事録を作る仕事を受託して3年になります。この仕事を始めるまでは、議会には程遠い場所だと思っていましたが、実際に自分の耳で聞いて接してみると、町民にとって非常に身近な話題が熱心に議論されており、行われた事業の成果や町民の声がどのように届けられているのかなど、知ることができました。

議会の傍聴に行ったことはまだありませんが、傍聴者の数は多くはないと聞いています。傍聴というと少しハードルが高いと感じることもあると思いますが、より多くの方に身近に感じてもらい、興味を持っていただけるように、役場の待合や飯綱病院の待合のモニターに議会の様子を配信するなどの工夫をしてはいかがでしょうか。

議員のなり手不足なども深刻化しています。投票率もより上がってほしいなと感じています。

飯綱町が大好き!



玉木 瑠美子さん
(東高原)

移住6年目に入りました。自然の美しさ、豊かさ、人の温かさ、この地で暮らすことを選択して本当に良かったと思っています。

他県に比べ特に社協のきめ細かい対応には心打たれます。

高齢になってからの移住なので、なお感じるのは、日々の暮らしの中、不都合不自由も感じることはありません。

◎アイバス、これはありがたいシステムですが本数が少ない。生活する人のためにも考えてほしい。

◎美しい霊仙寺湖!他県から来たら感動します。まわりの手入れができてない? レストランあとの場所が物置き? 悲しい風景です。

◎町民会館、駐車場も広く使い勝手の良い施設。メイラ、スクは駐車場が問題です。

◎他県から来て観るからこそ変? な所もいっぱいあるのです。
でも雪の山々も美しく、すばらしい! 可愛いリンゴの花! 花いっぱいなの町! 大好きです! と思うからこそもっとすばらしい町になって日本中に住みたい! 暮らしたいと思っています。

議員定数・報酬等調査研究特別委員会 発足

【構成】

- ・議長を除く議員全員
委員長 原田幸長
副委員長 瀧野良枝

【調査研究内容】

- ・視察等による他議会の状況把握
- ・見識者、論文等の意見把握
- ・町民の意見把握等により町議会にふさわしい定数・報酬の決定



住民懇談会のご参加を

(議会日より第64号～69号)

- ・無投票当選の結果で残念。
- ・全国的な議員のなり手不足、飯綱町も例外ではないのでは。
- ・議員定数や報酬について議論する機会を設けてほしい。

住民の皆さんからのご意見、議会報モニターアンケートで出されたご意見を基に、議会では特別委員会を立ち上げ、調査研究を推し進めることとなりました。

■6月定例会予定

6月1日～16日 (16日間)
一般質問
6月5日 (月)・6月6日 (火)
常任委員会
6月7日 (水)・6月8日 (木)



光り輝いている通学路沿いの花たち

70号表紙説明

牟礼小学校の子どもたちの下校の様子です。自然豊かな飯綱町で、花々が咲き誇る中、新学期がスタートしました。前日の雪も消え、暖かな春の日差しを浴びて元氣一杯です。

議会議報よりモニター 生の声 31

誰もが住みやすい町



大川 松美さん (上赤塩)

先日、地域おこし協力隊経験者の皆さんと知り合いました。今まで直接お会いすることもなかった方々だったのでお話を聞かせていただき、それぞれの活動の内容を知ることができまし

たが、協力隊を卒業した後、地域との関わりを継続していくことの難しさを実感しました。

協力隊の皆さんの活動が広報などで発信されてはいるものの、町内に浸透しているとは言えません。彼らとの交流を通し、それぞれの特技を活かせるような提案や、卒業後に町の事業を提携できるような仕組み作りが必要ではないでしょうか。少子高齢化に直面している現在、若者が定住できる環境作りや子育てがしやすい十分な保障、援助がなされる町政を望みます。

編集後記

先日開催されたWBC(世界野球)は私たちに熱いメッセージ送ってくれました。

個人プレーより全員でつなぐチームプレーが優勝を手繰り寄せ、真の強さを教えてくれました。私たちもそんなチーム議会を目指したいと思います。(和)

編集委員

発行委員	渡邊千賀雄
委員長	石川信雄
副委員長	中井寿一
委員	小林文廣
委員	瀧野良枝
委員	青山弘
委員	中島和子